



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月14日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 斉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 倉田 祐一
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5400-5444

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	9,647		4		2		1	
2018年12月期第2四半期								

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 4百万円 (%) 2018年12月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	0.09	
2018年12月期第2四半期		

(注) 当社は、2018年12月期は連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期の連結経営成績及び対前年増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	17,114	8,142	47.6
2018年12月期			

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 8,142百万円 2018年12月期 百万円

(注) 当社は、2018年12月期は連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期の連結経営成績及び対前年増減率は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		8.00	8.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,111		110		116		62		4.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社アートコーヒー、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	13,869,200 株	2018年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	617,460 株	2018年12月期	1,935,530 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	13,063,457 株	2018年12月期2Q	11,968,152 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第2四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「2019-2021年度中期経営計画」に基づき「構造変革と成長分野への投資」を柱として、収益構造の改善と内部統制の強化に注力しています。

「飲むことを楽しむ」というコーヒーの新たな価値「Fun To Drink」をテーマとし「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、工業用コーヒーにおいては、缶コーヒー等へのレギュラーコーヒー供給が不調となりました。

また、事業継承しました一杯抽出事業「キューリグ事業」のスタートアップの遅れがありましたが、6月に新たな取組みのカフェブランドとのブランドパートナーによる新ブランド6カプセルを販売開始しました。

以上新規等への取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は96億47百万円となりました。しかしながら各種スタートアップコストがかさみ、4百万円の営業利益となりましたが経常損失は2百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、82億43百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金29億20百万円、受取手形及び売掛金35億38百万円、原材料及び貯蔵品10億62百万円であります。

固定資産は、88億71百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産64億85百万円、無形固定資産18億91百万円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、171億14百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、47億60百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金39億77百万円、未払金4億54百万円であります。

固定負債は、42億10百万円となりました。主な内訳は、長期借入金34億12百万円、繰延税金負債4億19百万円あります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は89億71百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、81億42百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.6%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4億90百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には29億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億71百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が3百万円、売上債権の減少5億43百万円、たな卸資産の減少18百万円、仕入債務の減少2億27百万円、減価償却費2億2百万円、のれん償却費93百万円及び法人税等の支払額1億5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19億41百万円となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出13億95百万円及び投資計画に基づいた3億35百万円の有形固定資産の取得による支出、事業展開に合わせた購買管理システムの更新等に関する42百万円の無形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は19億59百万円となりました。これは長期借入れによる収入35億円、株式の発行による収入14億94百万円、短期借入金の返済による支出28億50百万円、長期借入金の返済による支出87百万円及び配当金の支払額95百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年8月14日に公表した通りです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,920,024
受取手形及び売掛金	3,538,994
商品及び製品	584,086
仕掛品	33,572
原材料及び貯蔵品	1,062,135
その他	104,954
貸倒引当金	△431
流動資産合計	8,243,336
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	5,743,723
減価償却累計額	△2,683,574
減損損失累計額	△1,741
建物及び構築物（純額）	3,058,407
機械装置及び運搬具	5,698,935
減価償却累計額	△4,480,844
減損損失累計額	△21,317
機械装置及び運搬具（純額）	1,196,773
土地	2,036,455
リース資産	15,740
減価償却累計額	△5,084
リース資産（純額）	10,656
建設仮勘定	14,249
その他	560,440
減価償却累計額	△385,777
減損損失累計額	△5,329
その他（純額）	169,333
有形固定資産合計	6,485,875
無形固定資産	
のれん	739,859
顧客関連資産	1,028,850
その他	123,066
無形固定資産合計	1,891,776
投資その他の資産	
投資有価証券	98,242
繰延税金資産	280,177
その他	115,698
貸倒引当金	△717
投資その他の資産合計	493,400
固定資産合計	8,871,053
資産合計	17,114,389

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(2019年6月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,977,344
未払金	454,297
未払法人税等	90,798
賞与引当金	67,890
受注損失引当金	20,049
その他	150,206
流動負債合計	4,760,585
固定負債	
長期借入金	3,412,500
繰延税金負債	419,149
役員退職慰労引当金	8,002
退職給付に係る負債	289,184
資産除去債務	19,429
その他	62,585
固定負債合計	4,210,852
負債合計	8,971,438
純資産の部	
株主資本	
資本金	4,966,498
資本剰余金	1,260,398
利益剰余金	2,522,250
自己株式	△603,332
株主資本合計	8,145,815
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△2,864
その他の包括利益累計額合計	△2,864
純資産合計	8,142,950
負債純資産合計	17,114,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,647,375
売上原価	7,783,028
売上総利益	1,864,346
販売費及び一般管理費	1,859,774
営業利益	4,572
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	1,859
その他	8,465
営業外収益合計	10,336
営業外費用	
支払利息	11,823
株式交付費	5,501
その他	227
営業外費用合計	17,552
経常損失(△)	△2,643
特別利益	
固定資産売却益	136
補助金収入	9,839
特別利益合計	9,975
特別損失	
固定資産除却損	3,732
特別損失合計	3,732
税金等調整前四半期純利益	3,598
法人税、住民税及び事業税	26,173
法人税等調整額	△21,334
法人税等合計	4,838
四半期純損失(△)	△1,240
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,240

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,240
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,864
その他の包括利益合計	△2,864
四半期包括利益	△4,104
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,104
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,598
減価償却費	202,533
のれん償却額	93,089
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,656
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△19,850
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,485
受取利息及び受取配当金	△1,870
補助金収入	△9,839
支払利息	11,823
有形固定資産売却損益 (△は益)	△136
有形固定資産除却損	3,732
売上債権の増減額 (△は増加)	543,249
たな卸資産の増減額 (△は増加)	18,547
仕入債務の増減額 (△は減少)	△227,408
その他	△59,885
小計	576,666
利息及び配当金の受取額	1,384
利息の支払額	△12,312
補助金の受取額	9,839
法人税等の還付額	2,015
法人税等の支払額	△105,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△335,298
有形固定資産の売却による収入	279
無形固定資産の取得による支出	△42,098
投資有価証券の取得による支出	△976
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,395,645
事業譲受による支出	△855,553
貸付けによる支出	△1,000
貸付金の回収による収入	700,210
その他	△10,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,941,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△1,676
短期借入金の返済による支出	△2,850,000
長期借入れによる収入	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△87,500
株式の発行による収入	1,494,496
配当金の支払額	△95,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,959,852
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	490,768
現金及び現金同等物の期首残高	2,429,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,920,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月9日開催の取締役会決議に基づき2019年1月7日付で、三菱商事株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結累計期間において資本金が、7億49百万円、資本準備金が7億49百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が49億66百万円、資本準備金が12億60百万円となっております。

また、2018年11月9日開催の取締役会決議に基づき2019年1月7日付で自己株式1,318,100株の消却を実施いたしました。この結果、第1四半期連結累計期間においてその他資本剰余金が5億10百万円、利益剰余金が7億77百万円及び自己株式が12億87百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が25億22百万円、自己株式が6億3百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の算定については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用してまいりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当期においてユーシーシー上島珈琲株式会社及びその子会社であるキューリグ・エフイー株式会社より一杯抽出事業「キューリグ事業」を承継するとともに、株式会社アートコーヒーをグループ化したことを契機として、2019年度以降の中期事業計画を見直した結果、今後の有形固定資産は、その稼働期間中、長期にわたり平均的かつ安定的に稼働することが予想されるため、均等に費用を配分する定額法がより合理的な期間損益計算に資すると判断し、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は20百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20百万円減少しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。